

令和4年度第三セクター経営評価結果及び対応について

(株)ソフトアカデミーあおもり

1 令和4年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

すべての項目において「概ね良好」という結果となっている。

※参考 令和3年度決算

■当期損益 99,132千円 累積損益 1,156,933千円

■市からの収入

全体 622,432千円（営業収益に占める割合 R3：85.7%←R2：89.8%）

うち競争によらないもの 270,611千円（営業収益に占める割合 R3：37.3%←R2：28.6%）

※令和3年度の「うち競争によらないもの」の営業収益に占める割合（37.3%）は、コロナ関連で一時的に増加した受注業務分（新型コロナウイルスワクチン接種券発行業務等）を除くと、30.6%となり、例年並みの水準を維持している。

2 第三セクターの対応

◆経営戦略プラン(R2~R4)の取組と計画

経営の安定基盤を確立し、成長し続ける企業へという方針に基づき、下記取組を実施。

○具体的取組

- ①事業充実のための企画提案・顧客の開拓
- ②高度IT人材育成・中小企業支援機関として地域へのIT教育の追求と実施
- ③新たな事業創出のための最新技術の研究
- ④経営の透明性の確保

○財務計画:毎年度の黒字が目標

（当期損益：R2年度 56,788千円、R3年度 66,373千円、R4年度 50,873千円）

【取組状況】

令和4年度は、昨今のサプライチェーンの弱点を狙ったサイバー攻撃が顕在化・高度化していることを踏まえ、中小企業を対象としたセキュリティ人材養成の実践型研修によるサイバーセキュリティ対策を実施した。今後も中小企業者等へITを活用した支援に取り組んでいく。

また、中小企業からの保守業務やデータ入力業務の継続受注に加え、無線Wi-Fiエリア拡張に伴う通信機器設置業務を受注するなど、新規の顧客開拓に取り組んでいるほか、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた小学生プログラミング教室を本市をはじめ県内各地において実施している。

3 市の対応

本市経済を支える中小企業等の新たな事業活動への取組や経営体質の改善・強化へ向けた支援に、より一層取り組むとともに、経営の多角化による経営基盤の強化に向けて、令和5年3月に策定される新たな経営戦略プランに基づき取組等が計画的に実施されるよう指導等を行っていく。